

- 1 派遣期日 令和5年 8月 9日(水) ~ 8月 10日(木)
- 2 派遣先 学校名(会場名) ウェスタ川越: 埼玉県川越市新宿町1丁目17-17
- 3 研修内容 第37回 関東区学校図書館研究大会
研究主題 「未来への希望と学びを支える学校図書館」
S L A 2023年は「学校図書館法 公布70周年」昨日の自分と明日の自分を今日変える図書館

(1) 研究大会について

今日の学校図書館は、主体的な学びに必要な「学習センター」機能、探究活動に欠かせない能力を育む「情報センター」機能を生かした学習の拠点として期待されている。加えて、読書体験・感動体験から豊かな心を育む「読書センター」としても重要な役割を担っている。時代の変化に対応した、これからの学校図書館の役割やあり方について、各地の実践を学び、学校図書館の一層の充実・発展を目指したい。

(2) 記念講演 小説家 辻村深月さん「読むこと・書くことの喜び」

「図書室で暮らしたい」と話す辻村さん。10代を多く描いてきた作家ということもあり、子どもと大人の繋がりへの深い洞察から生まれる世界観や、図書への深い思いから学ぶことが多くあった。コロナ禍に執筆した「この夏の星を見る」は、土浦市の高校との交流や常陸太田市の施設活用から生まれた作品だと聞き、題材が身近に広がっていることにも驚いた。辻村さんの体験は数々語られたが、教育に通ずるもので印象強かったのは下記の2点であった。

① 若かりし頃に「ズッコケ3人組」を読んだ体験談

登場人物から、「子どものことをわかってくれる大人がいる」と感じ、大人の思う子どもと子どもが思う子どものギャップを払拭し、誠実で信じられる大人の存在に救われたとのこと。→現代、心に闇を抱える児童は多い。本はSNSと違って、知らぬ間に与えられてしまう情報に振り回されることも少ない。自分で選択し、好きな世界に好きなだけ入れるし、行けない世界にも飛べる。児童が本の世界から、想像力豊かに力強く生きていく活力を得られるよう読書環境を整えていきたい。

② 執筆活動の取材で出会ったカウンセラーの先生の話

「風のような存在でありたい」との話に影響を受けたという。「〇〇先生のおかげでと感謝されるよりも、気づいたら辛い時期を終えていた。知らぬ間に成長していた。背中を押し、自分を引っ張ってくれる風が吹いていた。そんな感覚だけが子ども達に残ってくれたらいい。」という話に、自分も、読者にそうしてもらえよう本執筆を目指しているとのこと。→この信念は、教師主導になりがちな教育の世界にも通じる。児童主体で、気づいたら児童自らが課題を解決したり、たくましく生きていたり…添え木のような心で児童と関わりたい。

辻村さんから先生方、子ども達へ

- ・「読書離れ」と言い過ぎないで。「本を読む=偉い」ではない。楽しいから手にとりという感覚で。
- ・本を読むことには意味がある。しなきゃいけないではない。急がせたり強制が一番いけない。機会やしかけは準備しておくが、没頭のタイミングは人それぞれ。見守る姿勢でいて。
- ・読書活動は、点数に結びつかない活動という考えや、将来本当に役に立つのかと思っている子もいるだろう。しかし、本の世界には、自分を無限に広がる世界へ連れて行ってくれる可能性が秘められている。楽しさや興味を引く工夫に力を入れ、どうか嫌いにさせないでほしい。
- ・自分と違う世界の本、何が答えか知りたくなる本、夢中になれる本にぜひ出会ってほしい
- ・中学時代は、好きなシーズに出会い、その世界に没頭してほしい。共通の話題で絆も生まれる。
- ・つまずいたら初心に戻ろう。その時の過去の自分が、未来の自分を変えるチャンスを与える。

(3) 分科会 2日間で学んだ実践報告から、2校の取り組みを報告する。

I. 確かな学びを支える学校図書館

「図書館活用教育を中心にすえた教育課程の編成」思考力・表現力・語彙力を高めるために
(東京都荒川区立第三日暮里小学校)

【研究の柱】

① 読書指導

計画	・新学習指導要領に合わせた指導計画を分担して作成	→効果的な活用に繋がる！
朝読書	・年間目標に向けて、時間の確保 (1年80冊 2年90冊 3年80冊 4年2400頁 5年2700頁 6年3000頁)	→穏やかな一日の始まり！ 読解力の向上！

② 読書活動

読書ノート	・読書の幅を広げ、質を向上 ・実態に合う資料の選択	→興味関心の傾向をつかみ、 対策がとれる！
辞書引きタイム	・全教科に必要な「言葉の力」の向上。 ・マイ辞書を持ち、第1目標500枚 ・言葉を探す基礎編と、楽しみながら学べる応用編 ①テーマの設定・調べ学習。②辞書での言葉遊び ③他の書物や図鑑にも応用 ④楽しいクイズ等の作成。	→偶然の言葉との出会いが 辞書を開く期待感になる！ →喜びと共に語彙力が高まり、 満足感が他の教科の 学習意欲にも繋がる！

○語彙力アップ○主体的な学びの力○問題解決能力アップ○知識が増える○親子の交流が増える

③ 探究活動

情報カード	・調べ学習を位置付けた授業を多く展開 ・全学年同形式。発達段階に合わせて見やすいものに (白：図書資料/黄：インターネット/ピンク：人から得た情報)	→児童は自ら自然と学びの 世界へ！
重点の一覧表	・学校図書館を活用した読書活動と探究活動(課題設定 情報収集・整理分析・まとめ表現)の指導の重点を明確化	→重点を意識した学習をス ムーズに展開できる！

II. 豊かな心を育む学校図書館

読者反応を高め考えを形成する力を育てる読書指導に関する研究

(千葉県横芝光町立光小学校)

【研究の視点】

① リテラチャー・サークルを通じて読者意識を高める。

- ・グループで同じ1冊の本を読み、お互いの読みを語り合い、小集団活動でさらに深化させる。
- ・読みの視点を役割分担し、理由づけて説明していく。
スポット係：おもしろいと思ったところを見つける／質問係：疑問に思うところを見つける
イラスト係：場面(好き・感動)を絵にする／繋がり係：読んでいる本との繋がりを見つける

② 読書履歴や読む実態をふまえて本に出会わせる。本との出会いを演出する読書カリキュラム。

- ・児童が「本を読んだ感想・振り返り」を入力して、互いに閲覧できるようにする。
- ・テーマを意識した選書の練習を行い、関連本を知っていく。

③ 学校図書館の活用と地域図書館との連携による児童中心の読書コミュニティを形成させる。

- ・近隣の図書館へ年間2回の校外学習
- ・図書室の整備や指導のための読書指導員派遣
- ・クラスごとに、月1回の配本
- ・町内の学校へオンライン読書紹介

○自己表現力がつく○共有により気付きの幅が広がる○今までとは違う読書への挑戦ができる
○本からのメッセージを感じ取る力がつく○本を紹介できる喜びと本を紹介される楽しさを知る

4 感想

今回の研修を通して、読書活動をより充実させる児童へのアプローチを知ることができた。読むことが様々な学習への広がりにも繋がるし、読むことがその子の生き方にも影響していく。児童一人一人がここぞという時に大切な一冊に出会えるように読書活動を充実させていきたい。